

一般社団法人 日本私立薬科大学協会 平成 25 年度事業報告書

I. 事業の概要

薬学教育 6 年制が導入されて 7 年が経過し、課題となっている教育内容、実務実習、薬学共用試験及び薬学教育第三者評価の実施等に関する検討並びに学生入学定員の遵守等について、総会、理事会及び検討委員会を中心に検討すると共に、全国薬科大学長・薬学部長会議、薬学教育協議会及び新薬剤師養成問題懇談会（新六者懇）等が行う調査等に協力した。

なお、本協会事務所の老朽・狭隘化等に伴い、平成 25 年 12 月 1 日付で新事務所に移転した。

個々の事業内容については次のとおりである。

1. 教育、研究に関する調査研究

(1) 教育、研究体制の整備について

薬学教育 6 年制に関する諸問題（教育内容、実務実習、薬学共用試験、薬学教育第三者評価及び学生入学定員等）について、調査検討した。

また、全国薬科大学長・薬学部長会議、薬学教育協議会、薬学共用試験センター、薬学教育評価機構及び日本薬学会等における実務実習、薬学共用試験、薬学教育第三者評価の調査等に協力した。

(2) 実務実習について

本年度は 4 回目の実務実習の実施となったが、随時、実務実習に関する諸問題を検討するとともに、薬学教育協議会（実務実習推進委員会等）での検討状況について報告を受け、協会としての課題について検討を進めた。

また、平成 24 年度に実施した実務実習を踏まえ、実施体制、実施時期、実施期間及び実習費等諸問題の改善に向けて、加盟大学に実態調査を行い、その結果については薬学教育協議会で検討することとした。

なお、実務実習費に対する消費税の非課税化扱いについては、今後の対応を実務実習検討委員会で検討することとした。

(3) 薬学共用試験について

本年度は5回目となる共用試験の実施となった。

また、薬学共用試験(CBT、OSCE)の実施状況、CBT問題の作成・管理、不正対応、及びモデル・コアカリキュラムの改訂に伴う薬学共用試験システム改修等について報告を受け、協会として検討し了承した。

(4) 薬学教育第三者評価について

薬学教育評価機構の活動状況、平成25年度評価申請3大学の本評価実施、平成28年度評価対象大学の決定方法等について報告を受け、協会として検討し了承した。

(5) 薬剤師国家試験問題の検討について

平成25年3月に実施された第98回薬剤師国家試験を受けて、7部会(物理・化学・生物、衛生、薬理、薬剤、病態・薬物治療、法規・制度・倫理、実務)における検討結果を踏まえ、薬剤師国家試験問題検討委員会において調査検討を行い、各部会との整合性を図り、報告書を厚生労働省へ提出した。

また、これらを受けて開催された厚生労働省による医道審議会薬剤師分科会「薬剤師国家試験事後評価部会」において、本協会「薬剤師国家試験問題検討委員会」の中から2名の推薦を受け、同事後評価部会において参考人として意見を述べたところである。

2. 薬科大学協会の管理運営等

(1) 教育賞の授与について

毎年度、薬学教育に多大な貢献をし、薬学教育の進歩発展に特に功績のあった者に対し、日本私立薬科大学協会教育賞を授与しているが、本年度は3名を選考し、教育賞を授与した。

なお、教育賞実施規程について一部改正を行った。

(2) 学生の入学定員及び入学者数の取扱いについて

今後の学生入学定員の遵守について協議した結果、薬学教育内容及び指導体制の一層の充実並びに実務実習実施施設の円滑な確保等から、従来どおり入学定員と入学者数が等しくなるよう極力努めることを確認し、また、入学者数が入学定員の1.1倍以上の大学については、入学定員超過の原因及び今後の

対応策を内容とする文書の提出を願った。

- (3) 「アジア薬科大学協会（AASP）・第3回薬学部長フォーラム2014」について

同上フォーラム2014が、平成26年6月日本で開催されることに伴い、主催者である同組織委員会から、本協会に対し共催事業の依頼があり、検討した結果、共催事業として承認した。

- (4) 各種調査資料の作成について

学生・教職員数、入試要項、学生納付金、入学志願者の動向及び卒業生の就職状況等を調査し、協会及び各大学の検討資料とした。

- (5) 会報（協会だより）の刊行について

事業活動状況（諸会議議事録、各種調査結果等）、事業計画・報告、収支予算・決算及び大学紹介等について掲載し、年2回各大学へ配布した。

- (6) 広報活動について

各大学の入試状況を調査し、入試案内（冊子）を作成して全国の高校（5,200校）及び予備校（200校）等へ配布した。

また、6年制薬学教育を正しく理解してもらうため、昨年引き続き「6年制薬学ガイド」を刊行し、全国の高校及び予備校等へ配布するとともに、関係団体等にも送付した。

3. 薬剤師の生涯教育

各大学における卒後研修の実態を調査し、調査結果を各大学へ配布した。

4. その他

- 平成24年度事業報告、決算・監査報告を承認した。
- 平成26年度事業計画、収支予算を決定した。
- 平成26年6月任期満了に伴う役員選考日程及び手順等について、承認した。

(参考)

- ・文部科学省主催の「薬学系人材養成の在り方に関する検討会」が開催され、薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂等に向けた状況等について、議論された。
- ・「第 13 回新薬剤師養成問題懇談会」が開催され、今後の薬剤師養成に関する諸課題について、議論された。

Ⅱ. 諸会議開催状況

会議名	開催月日		開催場所
(理事会)			
第9回 理事会	25. 5. 14	(火)	アルカディア市ヶ谷
第10回 理事会	25. 6. 4	(火)	アルカディア市ヶ谷
第11回 理事会	25. 7. 2	(火)	アルカディア市ヶ谷
第12回 理事会	25. 9. 24	(火)	アルカディア市ヶ谷
第13回 理事会	25. 11. 5	(火)	アルカディア市ヶ谷
第14回 理事会	25. 11.26	(火)	東京ガーデンパレス
第15回 理事会	26. 3. 4	(火)	アルカディア市ヶ谷
(総会)			
平成25年度第1回 総会	25. 6. 4	(火)	アルカディア市ヶ谷
平成25年度第2回 総会	25. 11.26	(火)	東京ガーデンパレス

Ⅲ. 各種委員会開催状況

委員会名	開催月日等		開催場所
部局長会議			
第32回事務局長会議	25.7.19	(金)	金沢エクセルホテル 東急
第33回学生部長会議	25.11.29	(金)	ピュアリティまきび
第33回教務部長会議	25.12.13	(金)	アルカディア市ヶ谷
薬剤師国家試験問題検討委員会			
薬理部会	25.5.11	(土)	T K P 市ヶ谷カンファ レンスセンター
薬剤部会	25.5.11	(土)	近畿大学薬学部
病態・薬物治療部会	25.5.11	(土)	常翔学園大阪センター
衛生部会	25.5.17	(金)	ホテルクレメント徳島
法規・制度・倫理部会	25.5.18	(土)	武庫川女子大学
実務部会	25.5.18	(土)	慶應義塾大学薬学部
物理・化学・生物部会	25.5.24	(金)	K K R ホテル熊本
第1回薬剤師国家試験問題検討委員会	25.6.25	(火)	アルカディア市ヶ谷
教育賞受賞者選考委員会			
第1回受賞者選考委員会	25.7.2	(火)	アルカディア市ヶ谷
第2回受賞者選考委員会	25.11.5	(火)	アルカディア市ヶ谷
広報誌編集委員会			
第1回編集委員会	25.10.22	(火)	アルカディア市ヶ谷
第2回編集委員会	25.11.15	(金)	メルパルク東京
第3回編集委員会	26.3.4	(火)	アルカディア市ヶ谷
第4回編集委員会	26.3.27	(木)	薬科大学協会事務所

IV. 調査実施項目

1. 平成24年度 薬学部經常費補助金交付額調
2. 平成24年度 卒後教育実施状況調
3. 平成24年度 薬学部卒業生進路調（平成25年3月卒業生）
4. 平成24年度 大学院修了者進路調（平成25年3月修了者）
5. 平成24年度 実務実習実態調査
6. 平成25年度 薬学部入学志願者動向調（志願者、合格者、入学者、併願校等）
7. 平成25年度 大学院入学志願者調
8. 平成25年度 薬学部学生、大学院生数調（平成25年5月1日現在）
9. 平成25年度 専任教員及び職員数調（平成25年5月1日現在）
10. 平成25年度 薬学部在学生（3年生）出身校都道府県別調
(平成25年6月1日現在)
11. 平成26年度 薬学部学生納付金調
12. 平成26年度 大学院生納付金調
13. 平成26年度 薬学部入学志願者調